

2024.8.10<sup>土</sup>  
- 10.14<sup>月祝</sup>

勝央町町制 70 周年記念 勝央美術文学館開館 20 周年記念展  
「森の芸術祭 晴れの国・岡山」連携事業 PICK UP PROGRAM

関連イベント

田島征三 公開制作 (ライブペインティング)  
8.10<sup>土</sup> 13:00~ / 10.5<sup>土</sup> 13:00~

森太郎  
KINTARO

MORIGAMI KINTARO Seizo Tashima Exhibition The world of forests, life, and ART

田島征三 森と命とARTの世界



勝央美術文学館  
SHOO MUSEUM OF THE ARTS

【休館日】 月曜日（祝日・休日の場合は、その翌平日） 【開館時間】 10:00~18:00（入館は17:30まで）

【入場料金】 一般 500 円 / 大学生・高齢者（65 歳以上）は、証明書提示で 100 円引 / 高校生以下無料 / 障がい者手帳をお持ちの方および介助者 1 名は無料  
\* 20 名以上の団体は 2 割引 \* 割引の併用は不可

【主催】 勝央町、勝央町教育委員会 【協力】 鉢 & 田島征三 絵本と木の実の美術館、小さな絵本美術館、株式会社教育画劇

【後援】 勝央町文化協会、公益財団法人 美作学術文化振興財団、RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、KSB 瀬戸内海放送、テレビ津山、山陽新聞社、津山朝日新聞社、FM 岡山、エフエムつやま

Seizo art 2024

# 森神 KINTARO

## 田島征三 森と命とARTの世界

MORIGAMI KINTARO Seizo Tashima Exhibition The world of forests, life, and ART

勝央町は、日本伝承のキャラクター 金太郎（後の平安時代の武将・坂田公時）が、源頼光に従い九州征伐に向かう途中、熱病にかかり最期を遂げた地と伝えられています。森の中で動物たちと遊ぶ金太郎は、たくましい体と優しい心を育んだ自然児・元祖「森」のヒーロー。本展では、勝央の地で「神」となった金太郎が、「森神（もりがみ）」として、現代の私たちに今一度「森」のパワーを与え、コロナ禍で傷ついた「心」に命を吹き込んでくれることを願い、絵本『きんたろう』（1996年発行／教育画劇）の作者である絵本作家で現代アーティストの田島征三氏を迎え、自然と共に生きることをテーマとした展覧会を開催いたします。田島氏が本展のために「金太郎」をテーマに描き上げた新作100号8点の他、勝央の地で生み出される200号、大作など関連作品をあわせて生命力にあふれた作品世界を是非ご覧ください。

田島征三 たしませいぞう



撮影：秋元茂

1940年 大阪府生まれ。幼少期を高知県で過ごす。  
1965年 初めての絵本「ふるやのもり」出版。東京・京橋「南天子画廊」にて初個展。以来、絵画、絵本、イラストレーション、エッセイ、造形作品等を発表し続けている。  
2009年 新潟県十日町市の廃校になった小学校を丸ごと絵本にした「空間絵本」を制作。「絵本と木の実の美術館」開館  
2011～18年 日中韓平和絵本プロジェクトに尽力。  
2013～19年 香川県大島ハンセン病の元患者の療養所で、「青空水族館」「森の小径」「Nさんの人生」を制作。  
2024年 ラオスのアーティスト ルートマニー・インシエンマイとの共作絵本「森の歌がきこえる」15年かけて制作、出版。  
プラティスラヴァ世界絵本原画展（BIB）金のりんご賞、講談社出版文化賞受賞、小学館絵画賞、絵本にっぽん賞、日本絵本賞、巖谷小波文芸賞、絵本「つかまえた」産経児童出版文化賞美術賞、ENEOS児童文化賞など受賞多数。



1



2



3



4

この15年間森の国ラオスに通いラオスのアーティストと共に制作した絵本「森の歌がきこえる」が7月に出版される。引き続き勝央町森の神坂田公時のまつられているこの町と関わることに、素晴らしい出会いを実感している。森の女神「ヤマウバ」に育てられた金太郎。死して後、森の精霊と化した尼僧に守られて勝央の地でその魂は新たなパワースポットを形成しようとしている。森の女神と森の精と公時のものがたりがこの地から「森の祭」の場に登場することへの意欲に燃えている。

田島征三

### 関連イベント

#### 田島征三 公開制作（ライブペインティング）

※予定は変更となる場合がございます。詳細は当館WEBサイト等をご確認ください。

日時 ①8/10(土) ②10/5(土) 両日とも13:00～

ワークショップ（随時）

#### 【同時開催】

第14回きんときこども絵画展／町民ギャラリー1

絵本『勝央の金時』原画展／町民ギャラリー2

\*上記はいずれも入場無料

#### 鉢 & 田島征三 絵本と木の実の美術館



撮影：秋元茂

新潟県十日町市の鉢集落にある美術館。2009年大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレの作品として、廃校となった小学校を、「空間絵本」美術館として田島征三が蘇らせた。現在、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024開催中（11/10（日）まで）

#### 小さな絵本美術館（岡谷本館・八ヶ岳館）



絵本作家さとうきこ氏が創設した美術館で、1990年に諏訪湖近くのりんご園に（長野県岡谷市）、1997年にはその分館として八ヶ岳の麓に（長野県諏訪郡原村）建てられた。現在活躍中の画家をはじめ、亡くなられた先人たちの作品も企画展示する。現在、田島征三・画「きんたろう」を所蔵管理する。（写真は、岡谷市にある本館。）

表面：秋ヶ谷を渡る八重桐と金太郎 1.大雪に倒れる公時 2.尼僧によって守られる公時の魂 3.戦いに対して逡巡する公時 4.「きんたろう」（さねとうあきら・文／田島征三・画／1996年発行／教育画劇）

勝央美術文学館  
SHOO MUSEUM OF THE ARTS



〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 207-4

Tel.08668-38-0270 Fax.08668-38-0260

http://museum.town.shoo.lg.jp

■鉄道：JR 岡山駅（津山線）→津山駅（姫新線）→勝間田駅下車徒歩15分

■バス：中国ハイウェイバス JR 津山駅より15分／新大阪駅より2時間15分 《中国勝間田》下車徒歩5分

■自動車：中国自動車道 津山ICより約15分／美作ICより約10分／勝央ICより約5分

■飛行機：岡山空港から車で約1時間10分

